

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		いろどりジュニア白河				公表日	令和 8年 3月 12日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・仕切り等を使用している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5			・定員に対しては適切だが、送迎によっては検討するところもあり。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	・仕切り等を使用している。	・手すりがあると良い。 ・車椅子の利用児童に対して導線等を考えて場所の配置を行っているが、出入口等は段差等があり建物の構造的に難しい。 ・車椅子の児王が移動しやすい環境作り。 ・工夫はしているが、構造上や年齢の上がつてくる児童への対応が追いついていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・児童の状況によって変わってくるので、見直しを都度行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・児童によって個別の方が良い傾向にあるので想定した環境にしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・勉強会等で行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・評価表を元に業務改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・年間で職員の個別面談や不定期に話をする時間を取っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		・検討していきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・定期的に行い、開催している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			・計画、作成しているが、見直し改善は必要で常時行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・共通で進めて行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			・計画から沿った支援を行いながら、先の支援も検討している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			・ツールはあるので今後は活用できるようにしていきたい。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			・作成したものを更なる内容確認や話し合いで精度を上げていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			・担当職員が中心になり、意見等を求めて行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			・毎月担当職員が工夫をし行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			・見直しをかけながら支援を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			・当日児童や職員の欠席もあるので、ある程度は決めておき、時間をずらして最終の確認を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			・記憶の新しい内に共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			・振り返り等を活かして繋げている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			・不定期も取り入れ行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			・行っている。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			・ボードを使用したり、話し合いの場を設けて行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		・可能な限り参画している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		・更に改善が必要と感じる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1		・事業所から情報共有等はお願しているが、日程調整が難しく必要時にすぐに行う事は出来ていない。 ・学校によっては差もあり、今後の課題となる。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4		・相談員、保護者からの情報のみになってしまっている。 ・相談員を通してはあるが、直接やり取りをする事は出来ていない。 ・連携は出来ていないと思う。 ・来年度から体制が変わる為、移行への動きを早急に行っていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		・現在そのような事例に至っていないが、今後学校を通して進学先へ情報提供していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		・個人で研修を受ける機会はあるが、今後は全体で連携するようになっていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		・公園等で関わる事は多少あるので、今後は増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		・午後に開催される事が多く参加出来ていないので時間を調整し参加出来るようにしていきたい。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5			・可能な限り持っているが、今後は更に伝達方法の見直しを行う。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		・ペアトレ研修を受けた職員がいるので行っていきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		・もっと分かりやすくするためにマニュアル作成を検討したい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1		・事業所だけでは難しいケースもあるので、地域としても検討が必要と考える。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			・行っているが、理解がしにくい専門用語の使用に気を付け、分かりやすく伝えたい。 ・伝達方法の見直し。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			・迎えの際に話し終えなかった時は別日に時間を取ってもらい支援をしている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			・今年度初めて開催。今後も開催したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			・今の所苦情のケースはないが、もしあった場合は迅速かつ適切に対応したい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			・更に分かりやすく改善していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			・管理の見直しを再度行う。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			・更に配慮を行う為に外部との連携をし、強化出来るようにする必要がある。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		・事業所内の行事はあるが、招待はしていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			・策定しているが、周知の資料としては別の方法でも考えていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			・行っているが、設備の見直し充実を図る。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			・保護者に確認はしている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	4		・保護者から聞き取り対応している。 ・医師の指示書があれば対応していきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			・行っている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		・周知を更に分かりやすくする内容の見直しがあれば対応していきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	3		・ヒヤリハットがあった時は、作成していきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			・行い、適切な対応に努めている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			・説明をしているが、更に理解を深めてもらえるようにする。	